

令和3年 1月～12月 九州管内で発生したLPガス事故（液石法関係）について、その概要をお知らせします。

令和4年1月12日
九州産業保安監督部保安課

注：LPガス容器の盗難・喪失は除く。
事故情報については修正等の可能性あり

番号	発生日	発生地域	災害・事故の種類	概要 【原因】
22	12/8	鹿児島県	漏えい【消費】	供給設備近くで作業をしていた重機がバック中に誤って20kg 2本立てのLPガス容器に衝突し、内1本が破損、容器中のLPGは全て大気中に放出された。 【原因：他工事】
21	11/24	熊本県	漏えい【供給】	消費先での充てん作業を完了後、高圧ガス充てん所で充てん設備にLPガスを充てんした。充填作業を完了（高圧ガス設備と充てん設備は切り離し）後、充てん作業者が充てん設備の液取入取出弁を誤って開け、漏れたLPガス（液状態）を浴び、凍傷（腹部、両腕、両足；軽度）を負った。なお、漏えいに気づいた充てん作業者が直ちに弁を閉め、LPガス（液状態）漏えいを止めている。 【原因：誤動作】
20	10/15	福岡県	漏えい【消費】	近隣住民から消防へガス臭がするとの連絡があり、消防が出動。現地を確認したところ、露出配管からのガス漏れであることが判明したため、ガスを閉栓し、販売店に連絡した。 販売店は漏えい箇所である配管（白ガス管）部の腐食を確認し、腐食箇所の補修を行うと共に、仮設配管により消費者へのガス供給を確保した。 【原因：配管の腐食】
19	10/7	福岡県	漏えい【供給】	入居者よりガスが使用できないとの連絡があり、現地を調査したところ、50kg×4本の供給側及び予備側容器全て空であった。漏えい箇所は認められないが、ガス供給量と消費量にずれが認められたため、10月12日機器メーカーとともに再調査したところ調整器の自動切替えレバー部分からの漏えいが疑われたため、調整器（ITO製20kg用）を交換した。 なお、取り外した調整器はメーカーにより調査中 【原因：調整器のダイヤフラム劣化】
18	9/25	佐賀県	漏えい【消費】	販売店担当者が消費先（学校）に検針に行った際にマイコンメーターにB表示が出ていることを確認。漏えい箇所の特定を行ったところ、床下スペースに敷設された配管からの漏えいを確認した。 【原因：配管の腐食（床下の排水不良）】
17	9/24	福岡県	漏えい【供給】	水道管工事にともなう掘削作業において重機によりガス管を破損したという連絡を受けて、販売事業者が現地に出勤したところ、公道に埋設している戸建住宅への集団供給管（PE25）が破損されていることを確認した。 【原因：他工事】
16	9/8	福岡県	漏えい【消費】	建物2階の通路及び階段が崩落し、4軒中1軒（残り3軒は閉栓）の消費設備（配管と風呂釜）を損傷し、ガスが漏えいした。 【原因：建物の老朽化（築40年以上）】
15	8/21	福岡県	漏えい【供給】	消費者からガスが使えないとの連絡があり、現場を確認したところ、集合親メータが漏えい遮断していた。消費先は6軒の集団供給で、内1軒を解体作業を行っており、解体中のメーター付近の立ち上がり配管が損傷していた。 【原因：他工事】
14	8/18	福岡県	漏えい【供給】	建物2階通路床面が崩落し、1階部のガス供給管に圧力がかかり、継手部よりガスの漏洩が発生した。 【原因：建物の老朽化】

13	7/19	大分県	漏えい【消費】	ビル周辺の道路側溝からガス臭いとの通報（19:48）が消防に入り、ガス漏れが続いたため、周辺住民約40名が一時避難した。0時頃にガス漏れ箇所が判明し、周辺のガス漏れが解消。ガス臭がしたビルより約100mほど離れた建物（飲食店）の使っていない埋設配管からガス漏れ。推定漏えい量は約125㎡ 【原因：老朽化した配管の腐食】
12	7/12	鹿児島県	漏えい・火災【消費】	エアコン室外機の後方から出火していたため、消火器で消火した。 消費者から連絡を受け販売事業者が現地確認を行ったところ、金属フレキ管に小さな孔があり、ガスの漏えいが確認された。 【原因：不明（落雷による可能性あり）】
11	7/11	福岡県	漏えい【供給】	前日（7/10）充てんを行ったバルクローリーの安全弁からガスが漏えいした。充てん時の流量計の設定ミス（過充てん量約900リットル） 【原因：過充てん】
10	7/2	熊本県	漏えい【供給】	犬用トリミングスペースに設置されていた20kg2本立て容器のうち、1本の底部が一部腐しょくし、LPガスが漏洩したもの。母屋の居住者がガス臭に気づき、消防及び販売事業者へ通報。販売事業者が現地に赴き、容器を回収。消防は事故状況の確認を実施。 【原因：容器継目部分の腐食】
9	6/26	福岡県	漏えい【消費】	他工事業者が雨水工事のため建物周囲のコンクリートをカッターで切断作業をしていたところ、埋設配管の一部に接触しガス漏れが発生したとの連絡があった。現地到着後、すぐにガス供給を停止し漏えい部を確認。埋設配管破損による漏えいが判明した。 【原因：他工事】
8	6/20	宮崎県	漏えい【供給】	警察から、「通行人より通報があり、現場に駆けつけたところガス臭とともにガスが出る音がしていた」との連絡が販売事業者にあり現場に駆けつけ確認したところ、50kgボンベ6本のうち1本のボンベバルブと高圧ホースの接続部分が緩んでおり、そこからガスが漏えいしていた。接続部分を締め直したところ漏えいが止まった。 【原因：不明】
7	6/7	福岡県	漏えい【供給】	他工事業者が当該物件(集合住宅)の隣の空き地を掘削作業中に、敷地際のガス配管に重機が接触しガス漏れが発生した。担当者が現地到着後、すぐにガス供給を停止し確認したところ、供給配管ねじ部が破損し当該箇所から漏えいしていた。 【原因：他工事】
6	4/13	鹿児島県	漏えい【供給】	一般消費者より「容器周辺でガス臭がする」との通報があった。現場へ到着後、ガス検知器により容器付近での漏洩を確認。容器底部（スカート溶接部）の腐食による漏洩を確認した。 【原因：容器管理不足】
5	4/5	福岡県	漏えい【供給】	アパートの敷地内で下水道工事のためエンジンカッターにて路面切断中に供給管3か所を切断しガスが漏洩した。アパート住民より販売店に「ガスが止まった」との連絡があり事故が判明（マイコンメーターS B遮断） 【原因：他工事（下水道工事）】
4	3/17	宮崎県	漏えい【消費】	電気工事業者が壁面設置のコンセント工事中に、壁の内部に通っていたガス配管を損傷し、損傷部分からガスが漏えいした。 【原因：他工事】
3	3/16	佐賀県	漏えい【消費】	3月16日に保安機関がLPガスの法定点検（気密・漏洩試験）を実施、漏洩が確認された。30日に販売店が現地確認したが、漏洩推定箇所が隠蔽部であり、特定できず。 6月11日県に消費者側より相談があり、覚知。 その段階でガスは閉栓されていない状態（配管は未改善）であったため、ガスの閉栓を県より指示。6月25日に仮設備設置、本格改修はR4年度になる見込み 【推定原因：配管の老朽（設置後44年経過）】

2	3/12	熊本県	漏えい【供給】	<p>ガス圧低下の情報を受けたコールセンターからの連絡を受け、午前6時前に販売店従業員が現着。空き区画にガス管を引き込むためのバルブ埋設部を調査したところ、ガスの漏えいを確認。</p> <p>周辺を掘削したところ、空き地区画内の埋設管の継手部分（地下70cmくらい）の変形を確認。</p> <p>漏えい量（推定）：360kg</p> <p>【原因：他工事（重機等による損傷）】</p>
1	2/22	鹿児島県	漏えい【供給】	<p>アパートの入居者より「バルク庫からガスが漏れる音がする」との通報を受け、緊急出動したところ、液取り出し弁のバルブが少し開き、液が漏れていた。バルブを閉じ漏えいを止めた。</p> <p>【原因；作業ミス（安全弁取り替え若しくはバルク充てん作業時にバルブに何らかの要因でバルブが開いた。）】</p>